

令和4年度
中国環境パートナーシップオフィス
中国地方ESD活動支援センター
業務運営計画（概要版）

運営団体：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1 業務スキーム及び戦略

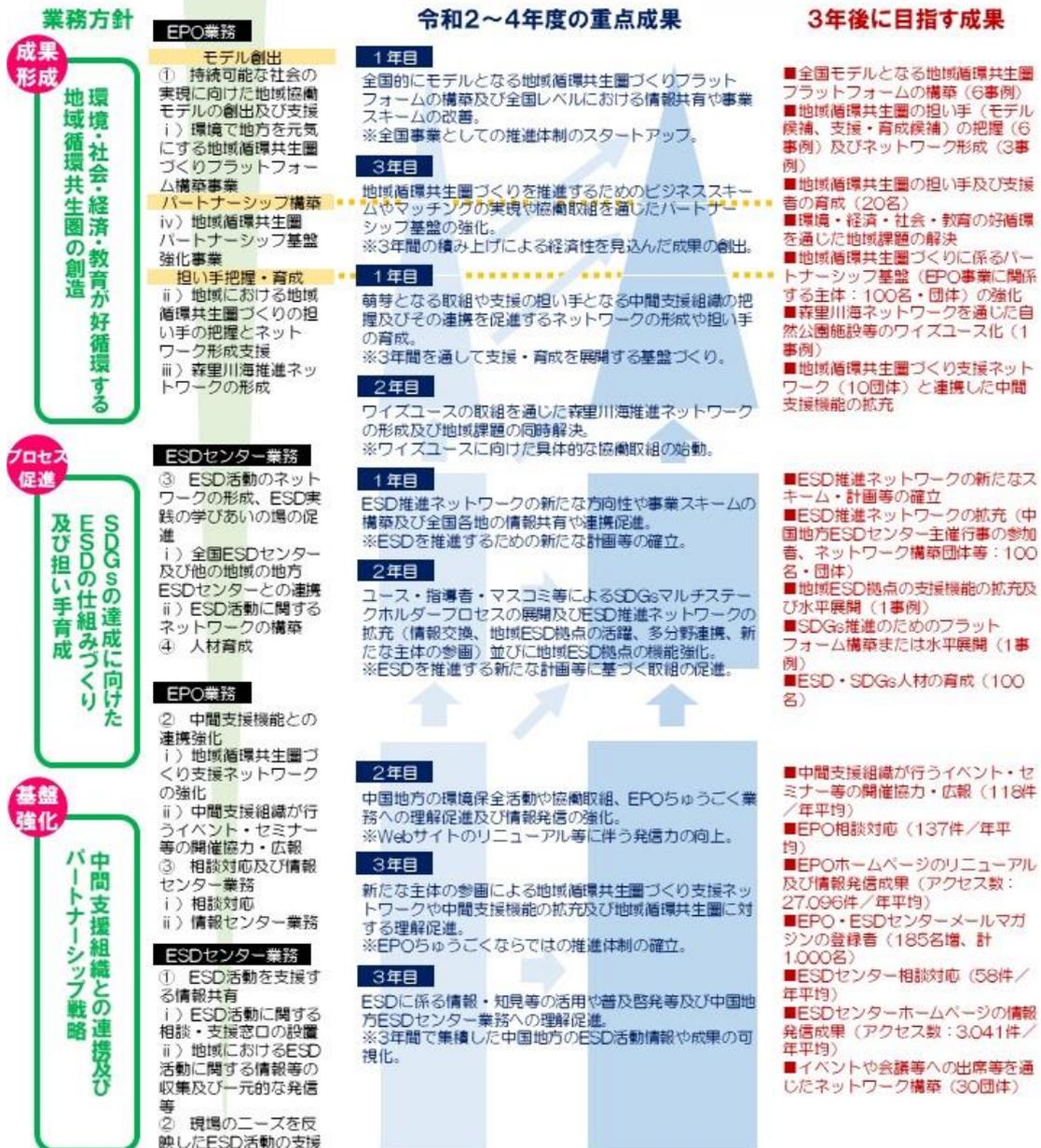
仕様書に基づく業務の内容を方針に合わせて構造化すると共に、令和2~4年度の成果を積み上げていくための重点性を設けて、業務を戦略的に推進する。

目的

本業務は、環境教育等促進法やESD国内実施計画で規定する役割を踏まえ、各種事業の企画・実施を通じて、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を広げることで、多様な主体が協働し自主的・効果的・効率的に環境保全活動を活性化させること、地域循環共生圏の創造を推進すること及びESD活動に関連する多様な主体と地域ネットワークの構築を図り、ESDのより一層の推進を図ることを目的とする。



成果の積み上げと戦略的な事業の成熟



2 EPO ちゅうごく業務

① 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援

i) 環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム支援

中国地方の支援事務局として、中国四国地方環境事務所と連携し、採択団体(令和4年度採択団体は瀬戸内市(岡山県瀬戸内市)、株式会社 YMFG ZONE プラニング(山口県大島郡周防大島町)の2団体、令和3年度採択からの継続(2年目)は、一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構(島根県隠岐郡)、株式会社萩・森倫館(山口県萩市)の2団体)に必要な支援を実施することを通して、全国的にモデルとなる地域循環共生圏づくりプラットフォームを構築する。なお、環境本省をはじめとする関係機関と共に全国の進捗共有や事業スキームの改善を図りながら事業を推進する。

(注)採択団体の住所表記は、対象事業の活動地域。

ii) 森里川海推進ネットワークの形成

森里川海の保全活動に係る中国地方の民間団体、自治体、企業、専門家、教育関係者等との情報交換の場を通して、保護制度の有無を問わず、地域の連結性のあり方や可能性を検討する。

また、森里川海の保全活動団体や森里川海に恩恵を受け生活している地域住民が、森里川海と自分たちの活動や生活の繋がりを改めて認識し、多角的な視点や協働について理解を深める。

iii) 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

中国四国地方環境事務所や過年度の関係団体等と連携した情報交換会やワークショップ等の開催を通して、引き続き地域金融機関や企業等との関係を構築すると共に、地域循環共生圏等の基本的な考え方や地域資源の活用に向けた方向性等を共有する。

また、GEOCが実施するヒアリングに対応するとともに、本事業で形成してきた地域金融機関や企業、経済団体等とのパートナーシップの成果を体系的に整理する。

② 中間支援機能との連携強化

i) 地域循環共生圏づくり支援ネットワークの強化

中国地方の特色を活かした優事例(環境・社会・経済・教育の循環)を題材に、地域循環共生圏(ローカルSDGs)を体験学習することができるインターンシップ・プログラムを開発するとともに、そのプロセスを通して地域循環共生圏づくりを担う実践者や支援者の育成を図る。

ii) 中間支援組織が開催するイベント・セミナー等の支援

各地における活動の発展や団体の成長、広域的な人材・情報交流を促すため、中国地域内外の中間支援組織等が行うイベント等の開催協力や広報、参加を通して、中間支援機能を強化する。

③ 相談対応及び情報センター業務

i) 相談対応

環境教育等促進法第 19 条に基づく拠点として、環境保全活動や環境教育、協働取組等に係る相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な取組や協働を促進する。

また、対応案件から得られた情報・知見を関係機関と共有し、他団体と連携した対応を行うことで相互扶助機能を高める。

ii) 情報センター業務

環境パートナーシップ拠点の基盤として必要な情報を収集・分析・蓄積すると共に、戦略的かつ計画的な発信を通して、中国地域の環境保全活動や協働取組、EPO ちゅうごく業務への理解を促進する。

また、リニューアルしたホームページを活かして効果的な情報発信を展開し、情報発信の成果を波及させる。

④ GEOC 及び地方 EPO ネットワークの連携強化

i) 全国 EPO 連絡会

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）及び各地方 EPO が連携して開催する全国 EPO 連絡会議（3 回）に参加し、環境パートナーシップの推進、ESD の普及促進に関わる取組について情報共有と事業連携を図る。

ii) 地方 EPO ネットワーク情報交換会

脱炭素社会の構築をはじめ取組が求められている政策課題・テーマについて、考え方の共通認識化を図るとともに、国・地方自治体の動向、連携を図るべき団体や専門家との接続などを目的として情報交換を行う。扱うテーマやゲストは、GEOC を中心に地方 EPO ネットワーク内で協議して決定する。

iii) 四国環境パートナーシップオフィス（以下「四国 EPO」という。）運営委員会

中国四国地方環境事務所管内の地方 EPO 間連携を強化するため、高松市で開催される四国 EPO 運営委員会へ出席する。

3 中国地方 ESD センター業務

① ESD 活動を支援する情報共有

i) 相談対応

ESD 推進ネットワークのハブとして、事業から得られた情報やノウハウ等を活用しながら相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な ESD 活動や協働を促進する。

また、対応案件から得られた情報・知見が活用できるよう関係機関と共有し、他団体と連携した対応を行うことで相互扶助機能を高める。

ii) 情報収集、発信等

中国地方の ESD 推進ネットワークのハブとして、全国及び各種のネットワークを活用し、ESD 活動を推進するために必要な情報・知見・ノウハウを収集するほか、国の政策や地域の活動、中国地方 ESD センターの取組等を効果的に発信するとともに、全国・地方センターと連携した情報発信を強化し、ESD の普及・啓発や活動の発展、広域的な情報交流、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図る。

また、3 年間で集積した中国地方の ESD 活動情報や成果を可視化し、関係機関との情報共有や各種業務で活用する。

② 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援

ESD に関連する様々なイベントや会議等への出席を通して、関係機関や地域 ESD 活動推進拠点、ESD 実践団体等と情報交流を行い、ESD 推進のための実践者・支援者・地域の支援ニーズの把握やネットワーク構築、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図る。

また、これらを踏まえて、EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター運営委員会において ESD 活動の支援機能について検討し、その結果を ESD 推進ネットワークで共有・活用することで幅広く効果的な支援を展開する。

③ ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進

i) 全国 ESD センター及び他の地方 ESD センターとの連携強化

全国の関係機関や有識者等が集う会議への出席を通して、第 2 期 ESD 国内実施計画等を踏まえた ESD 推進ネットワークの新たな方向性や事業スキームの展開を図り、全国各地の情報共有や連携を促進する。

ii) ESD 活動に関するネットワークの構築

全国の地域 ESD 拠点や ESD 実践者等と積極的に情報交換を図り、中国地方においても地域資源を活用した学びあいの機会づくりを通して、ユース・指導者・マスコミ等と連携して SDGs マルチステークホルダープロセスを推進する。

また、地域 ESD 拠点の登録支援や継続的なフォロー、他分野・新たな主体の参画を通して、中国地方及び全国の ESD 推進ネットワークの拡充し、地域 ESD 拠点の機能強化を図る。

④ 人材育成

i) 活動計画の作成

プロジェクトのテーマや中核となる ESD 活動実践者等について、担当官との協議、全国 ESD センターとの調整の上で選定し、年間活動計画を作成する。

ii) 学び合いの実施

テーマに関する学び合いや参加者間の交流を目的とした場として、勉強会・意見交換会（実践活動の振り返り会等を含む。）を開催する。

なお、開催に当たっては、参加者の募集を行う。

iii) 実践活動の実施

ii の学び合いの内容も踏まえ、テーマに関する実践活動を実施する。

なお、開催に当たっては、参加者の募集を行う。

iv) 報告

過年度にしまね海洋館アクアスと共催した「SDGs カフェ」の発展プロジェクトとして、水族館、NPO、ユース、事業者、専門家、中間支援組織、マスコミ等が協働し、地域の課題解決や SDGs の理解促進に資する ESD プログラムの開発及び市民への体験機会の提供を行うことを通して、地域 ESD 拠点を取り巻く ESD 推進ネットワークの拡充及び担い手の育成を図る。

4 管理業務

中国四国地方環境事務所や他地方環境パートナーシップオフィスと連携して、EPO ちゅうごく／中国地方 ESD センターの適切な管理運営に務める。

【運営体制】

